



## 大切な人のために時間を使うこと

校長 羽田野庸史

以下に記したのは、イギリスの保険会社が公開している「The Notebook」と題したCMです。

掃除機をかけているお母さんが、「はっ」と思い出したように掃除の手を止めキッチンに向かいます。オープンから料理を手にとると、赤ちゃんの音が聞こえてきます。赤ちゃんを抱き上げ、あやします。あわただしくお母さんは、家事をこなしていきます。すると、そこへ息子が帰って来ました。少年は、カバンから紙を取り出し、お母さんに渡します。お母さんは、紙を受け取り、見ようとしたところに電話がかかってきてしまいます。お母さんは、紙の内容を見ずにテーブルに置いてしまいます。少年がテーブルに置かれた紙を手にとって開くと、「うさぎとカメ」の文字が…。お母さんは、料理をしながら、電話をしている。忙しい。

少年がちらっと視線を送った先には、山積みになった洗い物。すると、少年は何かを思い立ち、一心不乱に鍋や皿を洗い始めます。お母さんは、少年がなぜ洗い物を始めたのか分からずに怪訝な表情を浮かべます。少年は、ノートに「食器洗い15」と記します。それからというもの、少年は部屋の片付けをしたり、小さな身体で大きなゴミ袋を出したり、そして、「ごみ出し10」などとノートにやったことと数字を記していきます。まだまだ少年の手伝いは続きます。洗濯をしたり、アイロンがけをしたり、「アイロンがけ15」とやったことをノートに記し、床みがきもして一生懸命手伝いをしていきます。

そんなある日、少年が家にいなかったのも、お母さんが外に出ると、そこには犬の散歩から帰ってくる少年の姿がありました。お母さんは、少年に「どうしたの?」と尋ねます。すると、少年は、1冊のノートをお母さんに手渡します。受け取ったノートを開くと、そこにはこれまでやってきた手伝いの記録が記されていました。「120分」、少年が記していた数字は、時間を表していたようです。そして、少年は、次のように続けます。

「お母さんのために時間を節約したんだ。だからお芝居見に来れるよね?」

ノートにはさんであった紙を開くと、お母さんに渡していた「うさぎとカメ」の紙。この紙は、学校でやるお遊戯会の案内だったのです。お母さんをお遊戯会に招待したかったけれど、忙しくしているお母さんの姿を見て、「これでは来てもらえない」と思った少年は、お母さんがお遊戯会に来れるようにお手伝いを一生懸命していたのです。そんな息子の姿を見て、涙を浮かべながら笑顔になるお母さん。そんな子供の気持ちが嬉しくて、優しい表情で我が子を見つめます。

そして、お遊戯会当日。あれだけ招待したかったお遊戯会ですから、さぞかし大役を任せられたのだろうと思っていると、なんと木の役。それでも、満面の笑みで一生懸命演じていました。

忙しい毎日を繰り返していると、大切な人と一緒に過ごすことができなくなったり、家族のために使う時間がなくなったりしてしまいます。たとえ、その忙しさが「家族や愛する人のため」であったとしても、それは家族や愛する人にとって幸せなことではないかもしれません。どんなに忙しくても大切な人のために時間を使うことが愛することにつながるかもしれません。

【参考 <http://bright-magazine.com/impression/1362/>】

## 7月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	水	自転車教室(3年 34校時)	なし
2	木	七夕児童集会 都学力調査(5年) 水道キャラバン(4年 56校時)	4~6
3	金	とうもろこし皮むき(1年 2組)	2~6
4	土		
5	日		
6	月	委員会	4~6
7	火	お話し会① 薬物乱用防止教室(56年) 保護者会(456年)	3~6
8	水	お話し会② 4時間授業	なし
9	木	体育朝会 避難訓練 保護者会(123年)	4~6
10	金	お話し会③ 警視庁見学(4年 2~4校時)	2~6
11	土	日本文化の時間③	なし
12	日		
13	月	給食試食会(1年 1組保護者)	3~6
14	火	芝地区見学(3年)	3~6
15	水	給食試食会(1年 2組保護者)	なし
16	木	音楽朝会	4~6
17	金	終業式 大掃除 給食終 4時間授業	なし
18	土		
19	日		
20	月	海の日	
21	火	夏季休業日始 夏季水泳① 補習① ラジオ体操①	
22	水	夏季水泳② 補習② ラジオ体操②	
23	木	夏季水泳③ 補習③ ラジオ体操③	
24	金	夏季水泳④ 補習④ ラジオ体操④	
25	土	ラジオ体操終	
26	日		
27	月	夏季水泳⑤	
28	火	夏季水泳⑥ 東町サマースクール(ANA 見学午後)	
29	水	東町サマースクール	
30	木	東町サマースクール	
31	金		

## 7月の生活目標

生活指導主任 三根 博喜

**教室以外の部屋に入る時や出る時のことばを  
はっきりいしましょう。**

相手や場に応じて、きちんと挨拶できるようにしましょう。

## 保健指導について

養護教諭 山岸 和子

子供たちの集中する力、想像する力、表現する力などの能力を伸ばすためには、心身の健康が土台となります。その心身の健康を育むために保健指導があります。本校では、発達段階に応じた内容を計画的に指導する集団指導と、個々の児童に応じた個別指導を行っています。保健指導の中で、特に重点を置いているのが基本的な生活習慣の定着です。6月には全校で歯みがきカレンダーを実施、また歯みがき指導を2・4・6年で行いました。わかっているけれども行動できないという壁を乗り越えるためには、様々な指導の工夫と家庭との連携による指導の継続が不可欠です。子供たちが健やかに成長していくために、これからも保護者と協力して保健指導に取り組んでいきたいと考えています。



## 避難訓練について

避難訓練担当 小林 未来

学校では、火災や地震などの災害が起こった時、子供たちが自分で身の安全を守れるよう、避難訓練を毎月1回実施しています。今学期は、地震・火事の訓練の他、保育園との合同訓練や、二次避難場所である網代公園への避難の仕方も学びました。

6月、小笠原で大きな地震があり、東町小学校の校舎も大きく揺れました。しかし、子供たちは、避難の際のルールである「お・か・し・も」(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)を守りながら、すばやく校庭に避難することができました。

いつ起こるか分からない災害。日々の訓練を積み重ねることで、いざというときの判断力を養っていかなければなりません。自分の命を守るのはまず自分自身です。これからも、様々な場面を想定した避難訓練を実施し、子供たちの防災に対する意識を高めていきたいと思えます。

## 夏季水泳について

夏季水泳担当 畠中 圭一

プール開きも終わり、子供たちは元気よく水泳の授業に励んでいます。

さて、夏季水泳は日頃の運動習慣を身に付けるだけでなく、友達との仲を深めることもできる絶好のチャンスです。運動の好きな子も、そうでない子も、友達と一緒に体を動かす楽しみを味わうことは非常に貴重な経験です。できるだけ多くの日程に参加し、仲間と水泳を楽しんでほしいと思います。「運動が好き」というだけでなく、「友達と一緒に体を動かすことが楽しい」と感じることで、とてもよいです。

今年度は児童数の増加に伴い、1・2年生の低学年、3・4年生の中学年、5・6年生の高学年の3つのグループに分かれて指導を行います。事前に配布される日程、時間帯、持ち物をよく確認した上で、夏季水泳へ参加させてください。

## 夏季補習について

教務主任 鈴木 明美

夏休みに夏季補習があります。国語と算数を中心として、1学期に習った基礎・基本の部分で不安なところを担当の先生と一緒に復習する学習教室です。夏休みの宿題ドリルをやったり、学校で準備した練習問題プリントを使ったり、各個人で課題をもって行います。課題の一つとして、3学期にある漢字検定に向けた問題にじっくり取り組むのも、この夏休みならではの、ぜひ、チャレンジしましょう。

前期は7月21日(火)～24日(金)の4日間、後期は8月26日(水)～28日(金)の3日間です。時間は夏季水泳指導の前か後、場所は1、2年生は2年教室、3、4年生は、3年教室、5、6年生は図書室です。希望者は、申し込み無しで参加できます。夏休みを利用してしっかり力を付けて、2学期に備えましょう。なお、7月28日(火)・29日(水)・30日(木)は申し込み制のサマースクールを予定しています。なお、詳細は後日お知らせします。